

目指す医師・医学者像についての意識調査

全日本医学生自治会連合（医学連）第33期中央執行委員長
山梨大学医学部医学科5年 山田潤一

昨年は「新専門医制度に対する医学生の意識調査アンケート」へのご協力ありがとうございました。この調査では、多くの医学生が新専門医制度によって進路決定に影響を受けると考えていることや、「なりたい専門医になれるのか」などの不安を抱えていることが明らかになりました。

専門医研修の主体者である医学生にとって、新専門医制度は目指す医師・医学者像に近づくための制度である必要があります。そこで、いま改めて医学生がどのような医師・医学者像を抱いているのかを調査し、新専門医制度の議論に反映していくことを目的として、医学連は**目指す医師・医学者像についての意識調査**を行います。ご協力をお願いします。

本調査で集められた医学生の声は、文部科学省・厚生労働省との懇談や、日本医学教育学会での報告によって、国や医学界に届けられます。本調査は匿名調査であるため個人が特定されることはありません。回答により不利益を被ることはありません。

I. あなた自身のことについてお聞きします。あなたの大学・学年・性別をお書きください。

()大学 ()年 性別 (男 ・ 女)

II. あなたの目指す医師・医学者像について、最も当てはまると思うものに丸をしてください。

質問①-1 あなたは、どのくらいの頻度で目指す医師・医学者像について考えますか。

1. まったく考えない 2. あまり考えない 3. たまに考える 4. 普段から考える

質問①-2 あなたは、どのくらい明確に目指す医師・医学者像を考えていますか。

1. まったく明確でない 2. あまり明確でない 3. やや明確な像がある 4. 明確な像がある

質問②-1 あなたは、目指す医師・医学者像について考えるのはどのようなときだと思いますか。

(複数回答可)

1. 大学における講義 2. 大学における実習 3. 学外の活動 4. 学生同士の会話
5. レジナビなどの研修説明会 6. 尊敬する医師との出会い 7. 大学病院以外での実習
8. 地域とのふれあい 9. 研究室での学び 10. その他 ()

質問②-2 質問②-1のような機会を、あなたは十分に得られていると感じますか。

(十分でない) [1 2 3 4] (十分である)

質問②-3 質問②-2で4以外を選んだ方にお聞きします。その原因として考えられるものを以下から選んでください。(複数回答可)

1. 大学で考える機会が提供されていないから 2. 学生同士で話題に上らないから
3. ロールモデルがないから 4. 授業が過密で考える余裕がないから
5. 特に今は考える時ではないと思っているから 6. その他 ()

質問③-1 目指す医師像や将来の働き方についての悩みを相談する相手はいますか。また、そのおおよその人数はどれくらいですか。

1. いない 2. 不十分だがいる 3. 十分にいる ()人

質問③-2 質問③-1で1以外を選んだ方にお聞きします。その相手は誰ですか。(複数回答可)

1. 大学 (□教員 □同級生 □先輩 □講習会やガイダンス) 2. マッチング先の病院
3. 研修説明会 (レジナビなど) 4. 学外の友人 5. 家族
6. その他 ()

(裏面にも続きます)

質問③-3 目指す医師像や将来の働き方について、誰に相談したいと思いますか。

1. 大学 (□教員 □同級生 □先輩 □講習会やガイダンス)
2. マッチング先の病院
3. 研修説明会 (レジナビなど)
4. 学外の友人
5. 家族
6. その他 ()
7. 相談したくない

質問④-1 今の医学教育によって、あなたが目指す医師・医学者像に近づけるとおもいますか。

(まったく近づけない) [1 2 3 4] (とても近づける)

その理由 ()

質問④-2 今の医学教育によって、あなたの医師・医学者を目指すモチベーションは変化しましたか。

(下がった) [1 2 3 4] (上がった)

その理由 ()

質問④-3 今の医学教育では、目指す医師・医学者像の多様性を広げ、選べるようになっていきますか。

(なっていない) [1 2 3 4] (なっている)

その理由 ()

質問④-4 目指す医師・医学者像について考え、近づくために医学教育に求めるものは何ですか。

(複数回答可)

1. 医師として獲得すべき技術・技能の修練
2. 国家資格取得のための授業
3. 生涯学習のための基本的学習姿勢の獲得
4. 医療現場での実践的訓練
5. 医療の持つ社会的責任の理解
6. 医師になるモチベーション醸成
7. 医師として求められる人格の涵養
8. 職業としての医師の多様な働き方の提示
9. 学生時代からの多職種理解と協働
10. 医師人生をともに歩む仲間や相談するネットワーク作り
11. その他 ()

Ⅲ. 現在、新しい専門医制度について議論が行われています。新専門医制度も将来の職業選択の1つのプロセス・経路地となり得ます。新しい専門医制度についてお聞きします。

あなたは専門医制度の議論に、学生の声をもっと反映することが必要だと思いますか。どのような点に関して学生のどのような意見を反映して欲しいと感じますか。理由もあわせて教えてください。

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない
3. どちらでもない

自由記述：

Ⅳ. 最後に、あなたの目指す医師・医学者像を教えてください。(自由記述)

質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。

新専門医制度の問題提起や今回のアンケート結果などは今後の[医学連新聞]で連載していきます。是非、医学連新聞やホームページ、フェイスブックなどもご覧下さい。

全日本医学生自治会連合(医学連)

E-mail: info@igakuren.com TEL: 03-5840-8263 FAX: 03-3816-9266